

平成31年度 事業計画 (美術館)

自 平成31年4月1日
至 平成32年3月31日

公益目的事業2 (展覧会事業)

1. 「inspiration or information?」展の開催

- ア. 名称 「サントリー芸術財団50周年 nendo × サントリー美術館
inspiration or information? 右脳と左脳でたのしむ日本の美」
- イ. 会期 平成31年4月27日(土)～平成31年6月2日(日)
- ウ. 概要 人は美しいものに出会ったとき、2種類の感動のしかたをします。作品の背景や製作過程、作者の意図や想いを知ることによって生まれる感動、そしてもうひとつは、ただただ理由もなく、心が揺さぶられる感動です。本展は、デザインオフィス nendo 代表・佐藤オオキさんが提案する、左脳的なアプローチ、右脳的な感じ方の双方で、日本の美術を楽しんでみる展覧会です。
- エ. 展示 薩摩切子 藍色被船形鉢 一口 サントリー美術館
白泥染付金彩芒文蓋物 一合 サントリー美術館
御所車桜蒔絵提重 一基 サントリー美術館 他
- オ. 備考 共催：nendo 巡回：なし

2. 「遊びの流儀」展の開催

- ア. 名称 「サントリー芸術財団50周年 遊びの流儀 遊楽図の系譜」
- イ. 会期 平成31年6月26日(水)～平成31年8月18日(日)
- ウ. 概要 「遊びをせむとや生まれけん」とは、『梁塵秘抄』の有名な一節です。この展覧会は美術のテーマとなった「遊び」に着目し、双六やカルタ、舞踊やファッションなど、男女が熱中し楽しんだ様々な遊びの変遷をながめます。とくに近世初期の「遊楽図」の名品を通して、ある時は無邪気に、またある時はものうげに遊び暮らした先人たちの、遊びの極意や、浮世を生きる術に、思いを馳せるひとときをお届けします。
- エ. 展示 国宝 松浦屏風(右隻) 大和文華館
重文 十二ヵ月風俗図 山口蓬春記念館
重文 清水・住吉図蒔絵螺鈿西洋双六盤 サントリー美術館 他
- オ. 備考 共催：朝日新聞社 巡回：なし

3. 「美濃の茶陶」展の開催

- ア. 名称 「サントリー芸術財団50周年 美濃の茶陶（仮称）」
- イ. 会期 平成31年9月4日（水）～平成31年11月10日（日）
- ウ. 概要 茶の湯のための、新しい日本のやきものが創造された桃山時代。美濃（岐阜県）では、力強い形姿、色彩、意匠をもつ新しい茶陶「黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部」がいつせいに花開き、もてはやされました。本展では、当時の美術工芸諸分野との比較も試みながら、その大らかで、個性的な造形的魅力の秘密に迫ります。また、美濃の茶陶が大正時代から昭和にかけて再び高い評価と人気を得てゆく様相も、名品によってご紹介します。
- エ. 展示
- | | |
|------------|------------|
| 織部四方蓋物 | サントリー美術館 |
| 鼠志野柳文平鉢 | サントリー美術館 |
| 瀬戸黒茶碗 銘 礎石 | サントリー美術館 他 |
- オ. 備考 共催：読売新聞社 巡回：なし

収益事業

1. 物販事業

企画展や収蔵品をモチーフにしたオリジナルグッズの展開に加え、日々の生活に彩りを添える商品を季節ごとに投入して店舗の鮮度を維持し、お客様に繰り返し足を運んでいただけるショップを目指す。

2. 飲食事業

「加賀麩 不室屋」の歴史・伝統を活かした食事・甘味メニューに加え、季節感を取り入れたメニューを展開し、お客様層の拡大およびリピーターの増加を図る。また物販においても土産・贈答にご利用いただける価格帯の詰め合わせを充実させ、飲食事業の売上の底上げを図る。

3. 貸室事業

「茶室」の貸出により収益を得るだけでなく、当館ならではの価値の訴求に寄与し、結果として日本のお茶文化の普及にも貢献していく。

以 上